

“鮮度一番！”

No.151

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとことコラム
- 2 ～3 / 運営委員会で話し合われたこと
- 3 ～4 / 発見！ただの魅力～ひろこの突撃レポート～
- 5 / 新コーナー・・・さんじょう地名メモ
- 5 ～6 / 参加報告
- 6 / 日々是上機嫌 編集後記

・・・ひとことコラム・・・

まだまだ教わることばかりです！

川崎光枝

最近知り合った福島の年配の方から額入りの『手紙』をいただきました

手紙 ～親愛なる子ども達へ～ 原作詞 不詳

年老いた私が ある日 今までの私と違っていたとしても
どうかそのままの私のことを理解して欲しい
私が服の上に食べ物をこぼしても 靴ひもを結び忘れても
あなたに色んなことを教えたように見守って欲しい

中略

あなたの人生の始まりに私がしっかりと付き添ったように
私の人生の終わりに少しだけ付き添って欲しい

中略

あなたが生まれてくれたことで私が受けた多くの喜びと
あなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で答えたい
私の子ども達へ 愛する子ども達へ

この手紙をいただいて、既に4人の両親は他界していますが、介護をしていた時のことを思い出しました。

さて 今年世の中がひっくり返る程の天災と人災が日本中を呑み込みました。生き方を変えた人や変えざるを得ない人など様々です。そんな中で出会った人達から、いろんなことを教わりました。ささやかな幸せに、幸せを感じられる心を持ち続けたいと思っています。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成23年10月5日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター(勤労福祉会館2階)

梨・柿・葡萄・栗や新米・お芋など至福の季節になりました。私たちが元気づけてくれているようで感謝です。

次回の運営委員会は、11月2日(水) 午前9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1. 三男女共同参画セミナー「出前講座」(9/25)参加報告

三条東公民館で開いた「女性の視点で見るメディア・リテラシー」講座、参加者からは、期待通りの内容だったとの感想がありました。

講座終了後、ロイヤルホテルでの懇親会では、運良く「本寺小路あかり物語」でライトアップされた三条別院を眺めながら大人の会話を堪能することが出来ました。

参加報告を5~6ページに載せましたのでお読み下さい。

2. 「大人の女性のためのしただツアー」(11/6)について

上記ツアーの経費や巡るコース、参加者等について話し合いました。

会員外の一般の方からの申込みもきていますが、10月15日発行の広報さんじょうへもミニ情報として掲載し、参加者を募集します。

会員の皆様、お早いお申込みを!! (野崎 32-3667 まで)

3. クラヴィコードコンサート in 嵐溪荘(11/5)について

「大人の女性のためのしただツアー」のためにわざわざ三条へ来て下さる演奏家の筒井さんですが、その日だけではもったいないと近藤さんが上記コンサートを企画してくれました。料理教室「ラ・キュイエール・トモ」主宰の高橋知子さんと嵐溪荘のコラボスイーツ「さつまいものブリュレ」がついて2,000円です。どうぞ、ツアーへ参加できない方、こちらで演奏をお楽しみ下さい。

◆日 時 11月5日(土) 13:00~

◆会 場 嵐溪荘

◆チケット 2,000円(スイーツ付)

◆申 込 先 嵐溪荘(0256-47-2211)

4. 男女共同参画のための研究と実践の推進フォーラム(10/22)について

恒例の上記フォーラムへ市から参加募集が、ありました。朝6時に市役所に集合して、埼玉県嵐山町にある国立女性教育会館で各ワークショップに参加します。

参加を希望される方は、市民窓口課市民係(TEL34-5511 内線293)まで。

5. 審議会等について

西方久子さんより、男女共同参画審議会の報告が、ありました。

9月29日三条市男女共同参画審議会が開催された。

審議会などにおける女性の参画率について、55ある審議会(行政委員会含む)の内10%以下の17審議会の委員選出方法や担当課の方策など1つ1つ検討を行った。

現在、委員は団体の長などの推薦を依頼してため、女性が組織団体の長となる社会的背景が必要となってくる。

審議会としては、「女性比率向上の方策」のため課題は多く、継続審議とした。

Vol. 7

発見! しただの魅力

～ひろこの突撃レポート～

しただ郷地域コーディネーター 近藤洋子

「人と人のつながりから生まれた新たな会」

11月6日(日)は皆様お待ちかねの「大人の女性のためのしただツアー」、不詳私がガイド役を務めさせていただくはず(?)となっています。そのためにあちらこちらのしただの皆様を巻き込み、三条市を中心とした都会からいらっしゃる大人の女性の皆様にご満足いただけるツアーとは?というテーマで悩み、ダメもとでクラヴィコードの製作者、高橋靖志さんに「柵田でクラヴィコード演奏ってできませんか?」と聞いてみました。当初は音源が小さい楽器だから、難しいかもしれないとのことだったのですが、たまたま演奏家の筒井さんがしただにいらっしゃっていて、高橋さんが相談されたら、「それ、面白そうな企画でいいんじゃない?」といわれたとのことで、翌日即、佐野誠五さんの柵田にクラヴィコードを持って行って下見、演奏していただきました。すばらしい!!こんな素敵なところで弾けるなんて最高ですよ!とおっしゃってくださいました。実は筒井さんは大学時代、農学部で農村景観についての研究をされていたとのこと、柵田と引き合わされる運命にあったんですね、赤い糸がつながっていたようです。

そしてトントン拍子に話が進み…。と思いきや、しかしここで問題が、演奏家の筒井さんは東京から

いらっしゃるプロの演奏家、ご本人はお礼はいらないとおっしゃってくれますが、そんなに甘えてもいられません。同時期に他でも演奏会が開けないか…?と悩み、またまたダメもとでしただの地元企業をいくつか当たり、そこで興味を持ってくださったのが嵐溪荘さんでした。ご存知の方も多いかと思いますが、嵐溪荘の社長はまだ40代になったばかりのお若い方です。この前の水害ではつり橋は流され、ひどい被害にあわれたにもかかわらず、人海戦術で何と10日間で営業再開にまでこぎつけたというバイタリティあふれる方です。人脈も幅広く、多くの方々が復旧活動に駆けつけてこられていました。そして昨年お嫁に来られた若奥様、由香利さんもこの企画に大いに乗ってくださり、11月5日(土)に「隠れ宿に流れる古(いにしえ)の調べ クラヴィコードコンサート in 嵐溪荘」という企画がまとまりました!!(パチパチ)

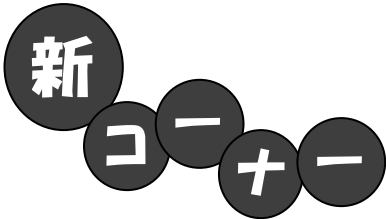
そして、先日、筒井さんと高橋さん、嵐溪荘社長ご夫妻と近藤の5人で会場の下見と打ち合わせをさせていただきました。昨年リニューアルされたばかりのリフォームの匠がプロデュースしたという「高城の間」は板張りの床に天井も重厚な木調の作り、大正モダン調の素敵なお部屋です。このお部屋で40人までの収容でコンサートを行おうと決まりました。木の床と天井がクラヴィコードの音を反響させ、演奏にはとてもよい環境のようです。そして素敵な空間で打ち合わせをしていくうちに、この企画をたった1回のクラヴィコードコンサートの実行委員会で終わらせるのはもったいないという事になり、これからはただの芸術文化を発信できる会にしていこうという事になりました。そしてできた会が「ただ郷芸術文化振興会」。会長は高橋さん、顧問に筒井さん、事務局に大竹由香利さんというメンバーでスタートです。もちろん近藤もスタッフとして参加させていただきます。

ちょうどコンサートの時期は紅葉真っ盛りの良い季節。土曜日の午後から演奏会、その後三条市内で料理教室を主宰されている「ラ・キュイユール・トモ」の高橋知子先生のスイーツをご堪能いただくという趣向です。そしてこのコンサートには野崎会長がお手伝いいただけるという事で、三条女性会議さんの頼もしいバックアップが入り開催できることとなりました。よろしければ、こちらにも足を運んでみませんか?皆様のご参加をお待ちしています。

～隠れ宿に流れる古(いにしえ)の調べ～ クラヴィコードコンサート in 嵐溪荘

演奏:筒井一貴氏 解説:高橋靖志氏

- 日 時:11月5日(土)
13:00開場 13:15開演 14:00～スイーツタイム
- 会 場:嵐溪荘 高城の間
- 参加料:お一人2,000円(スイーツ付)
※プラス500円でご入浴もできます
- お申し込み先:嵐溪荘 TEL0256-47-2211
- お申込締め切り:10月31日(月)
- 主 催:ただ郷芸術文化振興会(代表 高橋靖志)
- 後 援:・三条市 ・三条市教育委員会 ・三条観光協会
・下田商工会 ・三条女性会議
・秋のうきうきフェスタ実行委員会



さんじょう地名メモ(2)

「名処 (みょうしょ)」

三条地名研究会 杉野真司

2010年(平成22)の昨年は、1910年(明治43)6月14日に柳田国男の『遠野物語』が発刊されてからちょうど100年にあたります。ゆかりの地では遠野物語100年祭と称した記念行事が催されました。

この『遠野物語』の序文に、「三つ四つ五つの田を続けて稲の色の同じきは、すなはち一家に属する田にして、いはゆる名処(みょうしょ)の同じきなるべし。小字(こあざ)よりさらに小さき区域の地名は、持主にあらざればこれを知らず。」(角川文庫版)という一節があります。ここに登場する「名処(みょうしょ)」は、案外知られていませんが、三条出自の地名用語です。柳田は、小字より更に小さい地名の単位である「名処」に対して並々ならぬ関心を寄せています。1912年(大正1)の「地名の話」で、「越後三条辺ではこの小さい区割りを名処と申している。(略)これが小字の起源であろうと思う。」と名処を紹介しています。柳田の地名に関する著作は、1936年(昭和11)に『地名の研究』として一書にまとめられますが、そこに至るまで、名処についてたびたび言及しています。

柳田が名処を知ったのは、1907年(明治40)、裏館村の耕地整理の視察に来条した折だと思われまふ。当時、柳田国男は32才、農務省の官僚としての来訪でした。柳田の来条により、名処が三条出自の地名用語として世に送り出されましたが、名処の他に金子新田の名家外山家の且正、曆郎父子の著作も上梓されることとなります。父外山且正の『山さと』(1933年・昭和8)は、柳田国男の序文と岩田正巳の挿画をもつ美しい装丁の歌集です。息子曆郎の『越後三條南郷談』(1926年・大正15)は柳田の編集した民俗学の叢書「炉辺叢書」の一編として出版され、かつての嵐南地域の習俗を今に伝える貴重な資料です。外山曆郎の『越後三條南郷談』杷、近年、ほんじょうじほなみコミュニティ郷土史部会の「歴史の散歩道」(第1~3集)に転載されています。

「名処」『山さと』『越後三條南郷談』など、地名を通じて学んだことがあります。地名を介して知り得た郷土の宝を楽しみ、郷土に広く知ってほしいと願っています。

【参加報告】

三条女性会議はメディアリテラシーを磨き合う場かも？

米田美智子

新潟日報情報文化部の与口幸子さんの出前講座「情報読み解き講座～女性の視点で見るメディアリテラシー」に参加した。乳幼児の偏食に関する2社の新聞記事が配られ、その違いをグループで話し合う場所が設定された。同じ厚生労働省発表の調査に基づく記事にもかかわらず「母親の75%が使用」という見出しで市販のベビーフード依存傾向に対する母親への批判的書き方と、単に乳幼児に偏食が増加と書くにとどめている記事と、対照的だった。どちらの書き方が良いかという問題ではなく、メディアとは常に書き手の主観バイアスがかかるもの、

一流の新聞、テレビだからといって、客観的な書き方はないものと受け止めるべきとの内容だった。情報の送り手の側の新聞社の方がおっしゃるのだから、その率直さに感銘した。

私たちの世代は、日本放送協会（今のNHK）のラジオニュースを100%信じて「一億一心火の玉」となって、闘う愛国心あふれる日本国民として教育された。国のたった一つの放送局が言うことを疑ってみるすべはなかったのである。新聞の読めない小学生の私でも、ラジオの勇ましい口調の戦勝ニュースを聞くのはうれしかった。「日本軍はすごい」と素直に信じていた。事実は全く逆の方向を進んでいたのに。

しかし、メディアを一切信じないわけにはゆかないし、今時メディアなしの生活など不可能だ。半分信じて半分疑い、多様な報道に接しながら、常に修正し続けるしかないと思う。あふれるような情報の中で、私たちのメディアリテラシー能力が常に試されている。

三条女性会議のおしゃべりは、メディアリテラシー力を磨くのに絶好の場だと思う。いつの間にか互いに、異論も対論も投げ合っておしゃべりしている。

～日々是上機嫌～

田辺とも子

10月10日秋晴れのもと、「三条マルシェ～ごった市@ホコテン」が開催された。11時過ぎに会場のひとつ“ごぼ様”に到着した時は保育園児の鼓笛演奏中。可愛さに思わず顔をゆるめながら見とれていると先を急ぐよう連れから催促され、お気に入りを探すべく歩き始めた。ぶらぶら歩きは苦手の私も人出の多さには逆らえず、ゆっくり歩きとなるが、それが幸いしてお店の内容がよく見え、祭り気分も一層高まってきた。

連れは早くも“米粉を使ったシフォンケーキ”を購入。他にも美味しそうな屋台がずらりと並び食欲を駆り立てられるが、長い行列に買うのをあきらめた。しかしノ木戸商店街に足を入れると、にぎり鉢、ろうそく立て等々、私好みはずらりと並びジックリ品定めを楽しむことができた。お店の方との会話こそ何より面白い。値段交渉にも快く応じて下さって私の希望価格で手にいれることができ本当に満足した。本物の力士が子ども相手に相撲をしているブースがあるなど、飽きることのない「至上最大最強最長」のホコテンは、普段歩かない私にとってのチャレンジだったが、友人の歩数計が7,300を示したとのことで、日ごろの運動不足も解消された気がして、強引に誘ってくれた友人に感謝した秋の一日だった。

編集後記：

しっとりと三条の街が秋色に染まってきていますね。秋の夜長、鮮度一番に酔いしれて？・・・。
たっぷり6ページ、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>